

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	単純 CT で検出された限局性膵萎縮所見と膵癌発症に関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	<p>●研究の目的</p> <p>膵癌の予後改善には小径での早期診断が必須と考えられております。近年、上皮内癌を含む小膵癌の一部の症例に共通する画像上の特徴が存在することがわかってきており、その1つである限局性膵萎縮所見と膵癌発症の関連性を明らかにすることで膵癌早期診断に役立てることを目的としています。</p> <p>●研究の方法</p> <p>当院で 2018 年 1 月以降に膵癌と診断された方（患者群）のうち診断日より 1 年以上単純 CT（過去 CT）で膵形態が確認できる症例を対象とし、膵癌発生部位に一致する部位に過去 CT で限局性膵萎縮を有する頻度を調査します。対照群は 2018 年 1 月以降に新橋健診センターで健診を受け、直近の受検日より 5 年以上前の単純 CT（過去健診 CT）で膵形態が確認できる非膵癌の方とし、過去健診 CT における限局性膵萎縮を有する頻度を患者群と比較します。尚、限局性膵萎縮とは頭尾側の膵実質より 5mm 以上陥凹した状態と定義しております。その他、膵癌発生部以外の限局性膵萎縮を含めた萎縮の数、部位（膵頭部/体部/尾部）についても調査を行います。また、他の膵癌リスク要因（癌の家族歴、糖尿病、喫煙歴、アルコール摂取歴、BMI）保有への限局膵萎縮を有する際の膵癌予測上乗せ効果を調査します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	<p>・ 2018 年 1 月以降、2020 年 11 月までに東京慈恵会医科大学附属病院で膵癌と診断された方のうち膵癌診断日より 1 年以上前に単純 CT を撮像された方。</p> <p>・ 2018 年 1 月以降、2020 年 11 月までに東京慈恵会医科大学附属病院で新橋健診センターで健診を受けた方のうち直近の受検日より 5 年以上前に単純 CT を撮像された非膵癌の方。</p>		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	各種血液検査結果，画像検査所見，病理所見，カルテ記載の臨床所見（身体所見等）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓 内科

	または研究 代表者	氏名	鳥巢勇一
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 木下勇次	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始日：2020 年 12 月頃～		
【問い合わせ先】	【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 16：00）】 機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 研究責任者：准教授 鳥巢 勇一（とりす ゆういち） 電話番号：03-3433-1111（内線：3201） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。